



小平薬川

小平ダムに注ぎ込む二級河川

小平町滝下地区にある小平ダムは高さ42.4m、総貯水容量3,322万立方メートルの多目的ダムで、ダム下流域の水害を防除するとともに、下流既得用水の補給および河川環境の保全等のための流量を確保するために建設されました。ダム本体コンクリートの打設にはベルトコンベアー打設という新工法が採用され、ダム地点の計画高水流量1000m³/sの洪水を調整する機能が施されています。また、ダム下流地区に特定かんがい用水、小平地区および達布地区に水道用水の供給も行っています。

ダム工事の着工は昭和51年(1976年)、昭和62年(1987年)にはダムに架かる滝見大橋、中記念別橋が完成、平成2年(1990年)7月11日に堤体が完成し、翌年11月に試験たん水が始まりました。完成式は平成4年(1992年)9月25日に行われ、計画から完成まで20数年に及ぶ事業が終わりを迎えました。

二級河川小平薬川を利用した小平ダムの貯水池は「おびらしべ湖」という名称の人工池として、観光スポットとしての一面も持っています。湖にかかる「滝見大橋」は湖上橋として全道一の長さを誇ります。また、ダム公園にはクビナガリュウのモニュメントなどがあり、森と湖に囲まれた空間は訪れた方々にやすらぎを与えてくれます。

見どころ

ダムサイトの下側に広がるダム公園は、クビナガリュウのモニュメントがシンボルの憩いの広場です。ドライブ途中の休憩スポットとして、四季折々の風景に浸り、記念写真を撮るのもいいでしょう。

ポイント

おびらしべ湖に架かる滝見大橋の全長は900m。北海道にある湖上橋としては最も長い橋で、秋の紅葉シーズンのドライブルートとしてお勧めです。

五感で感じる！ 風土資産の魅力

聴 触 味 嗅 知

聴

小平町の語源はアイヌ語の「オピラウシペツ」o-pira-us-pet(河口に・崖・ある・川)で、町の中央を流れる小平薬川に由来しています。

触

おびらしべ湖ダム公園では「森と湖に親しむ旬間」にちなみ、「森と湖に親しむつどい」が毎年開催されています。水資源の貴重さや治山・治水の大切さをレクリエーションや見学会を通して、楽しみながら感じてもらうことを目的としたイベントになっています。

■基本情報(R3.5)

水系：小平薬川
種別：二級河川
延長：61.7km
流域面積：465.2km²
貯水池名：おびらしべ湖